



# iDeCo

## 金融機関徹底比較

# 自己紹介 竹川美奈子(たけかわ・みなこ)

LIFE MAP,LLC代表/ファイナンシャル・ジャーナリスト

- ・出版社や新聞社勤務などを経て独立。2000年FP資格を取得。新聞・雑誌等で取材・執筆活動を行うほか、投資信託や個人型確定拠出年金、マネープランセミナーなどの講師を務める。
- ・「1億人の投信大賞」選定メンバー、「コツコツ投資家がコツコツ集まるタベ(東京)」幹事などをつとめ、投資のすそ野を広げる活動に取り組んでいる。
- ・2016年7月～金融庁 金融審議会「市場ワーキング・グループ」委員、2017年2月～3月「長期・積立・分散投資に資する投資信託に関するワーキング・グループ」委員
- ・ホームページ: <http://lifemapllc.com/>
- ・FBページ: <https://www.facebook.com/lifemapllc/>



・おもな著書



# 本日の内容

---

**1. なぜ金融機関選びが大事か？**

**2. 金融機関の事例**

**3. 選ぶ上でのポイント**

# 金融機関(運営管理機関)選びは大切

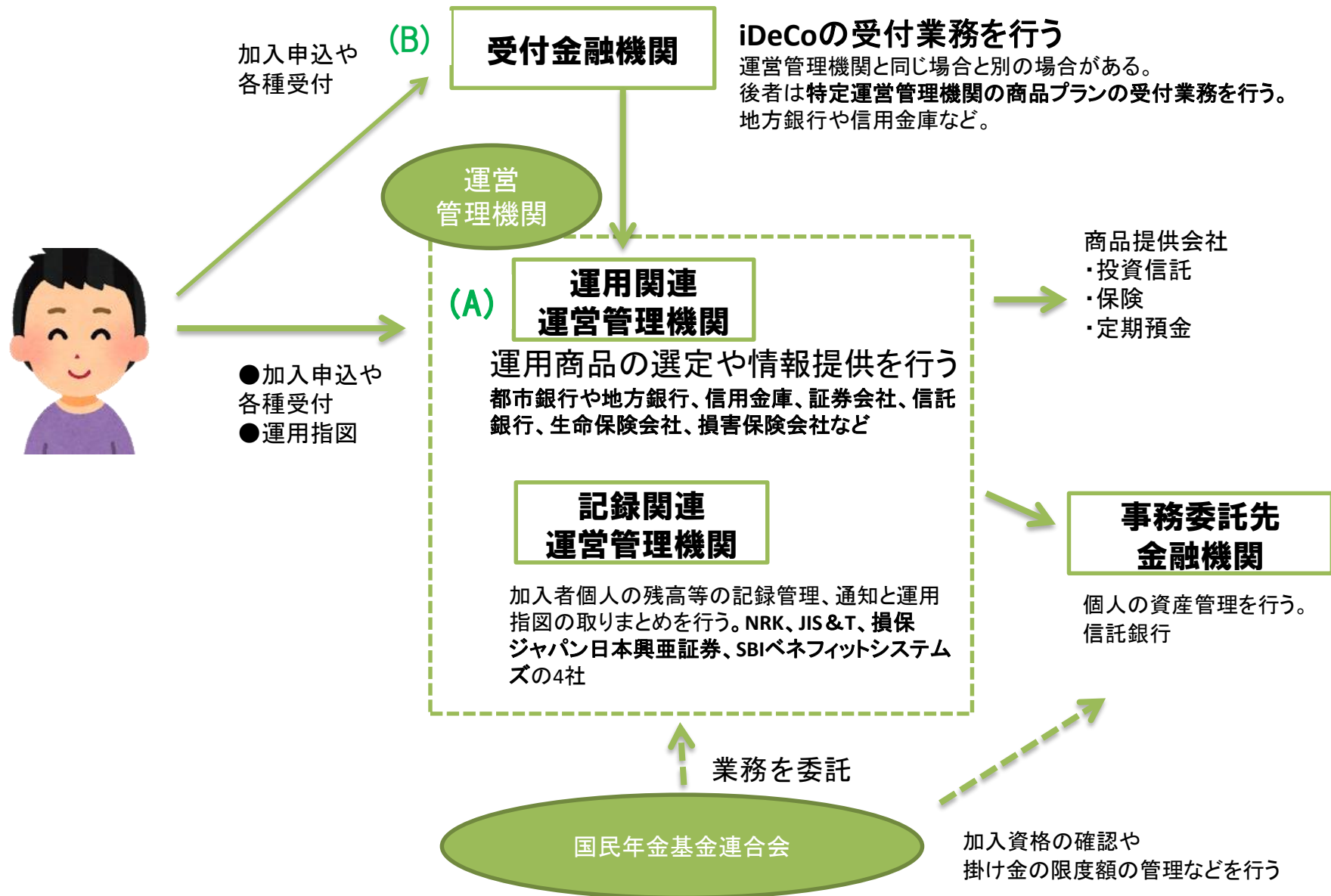
---

- ①運営管理機関はひとつしか選べない
- ②いろいろ違う！  
→商品の品ぞろえ・手数料、サービスが異なる
- ③変更はできるけれど、手間と時間がかかる。  
また、移換時に一度現金化される





# いろんな機関が関わっている



# 定量データ→ポータルサイト



# 金融機関を選ぶときにチェックしたいこと

---

## ①手数料

- －継続的にかかる「口座管理手数料」
- －ほかの運営管理機関に移す・企業型DCに移すときの手数料

## ②商品の品ぞろえ

### <投資信託>

- －低コストのインデックス投信がある？
- －購入したい個性的なアクティブ投信がある？

## ③サービス・その他

- －コールセンターの対応時間(日中のみか夜もOKか、週末)
- －WEBページのみやすさ
- －窓口での説明・申込受付の有無、対応店舗など
- －給付時の受取方法 など

---

**①ネット  
（＋コールセンター）**

**②リアル  
店舗で**  
・制度説明  
・申し込み  
・加入後の相談



# 手数料

## ●加入者

		加入時 手数料	口座管理 手数料	運営管理機関 変更手数料	企業型移換時 手数料		
		加入時 手数料	口座管理 手数料	運営管理機関 変更手数料	企業型移換時 手数料	加入時 手数料	口座管理 手数料
支払先	国民年金基金 連合会	2,777円	103円	—	—	2,777円	—
	事務委託先 金融機関	—	64円	—	—	—	64円
	運営管理機関						
合計							

## <参考:運用指図者>

**運営管理機関の手数料次第で合計額が変わってくる！**

# SBI証券

# SBI証券

---

- ー記録関連運営管理機関：SBIベネフィット・システムズ
- ー事務委託先金融機関：資産管理サービス信託銀行

ー2005年から「オリジナルプラン\*」と2018年11月1日に設定された「セレクトプラン」の2つがある

\*2018年5月に施行された確定拠出年金法等の一部を改正する法律に基づく商品数の上限を満たすよう運用商品の見直しを実施（35へ）

ー「オリジナルプラン」から「セレクトプラン」への変更は可能だが、他の管運営管理機関に変更するのと同様、「一度現金化」「1カ月～2カ月の時間を要する」点は注意が必要。ただし、他社の運営管理機関に移すときにかかる手数料4,320円はかからない。

# ①手数料(オリジナルプラン・セレクトプランは同一)

## ●加入者

		加入時 手数料	口座管理 手数料
支払先	国民年金基金 連合会	2,777円	103円
	事務委託先 金融機関 (資産管理サー ビス信託銀行)	—	64円
	運営管理機関 (SBI証券)	—	0円
合計		2,777円	167円／月

運営管理機関 変更手数料	企業型移換時 手数料
—	—
—	—
4,320円	4,320円
4,320円	4,320円

## <参考:運用指図者>

加入時 手数料	口座管理 手数料
2,777円	—
—	64円
—	—
2,777円	64円／月

\* 給付:1回につき432円が給付金から徴収される

\* 還付事務手数料:1回につき2,109円(国民年金基金連合会1029円、事務委託先金融機関432円、SBI証券 648円)

・口座管理手数料は月167円(年間2004円)

・留意点:ほかの運営管理機関に変更、企業型DCに移換するのに4,320円かかる。還付手数料が高い

# 除外について

---

- 法令により、除外対象となる運用商品の数量のうち法施行日である2018年5月1日以降に購入したとみなされるものについては除外が決定した時点で現金化されます。
- 2018年4月末時時点で保有していた数量を上限として、除外後も運用のみ継続して行うことはできます。
- 除外が決定した商品は新規買い付けもできません。

---

## ●指定運用方法

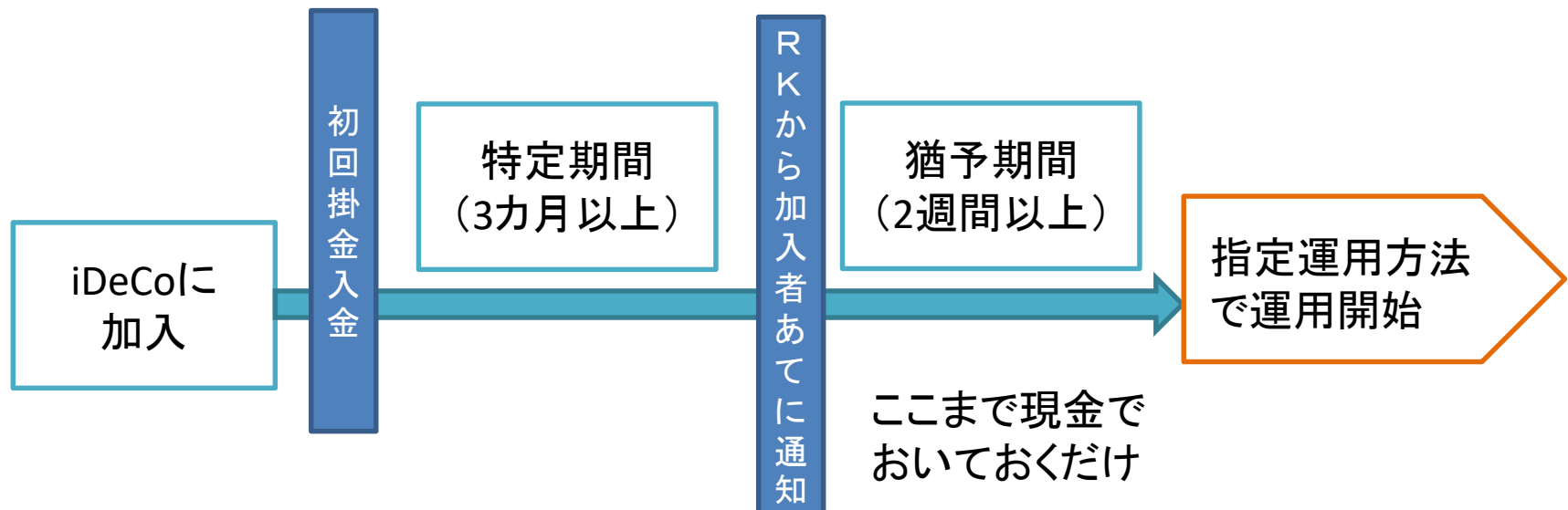
	商品名
預金	あおぞらDC定期(1年)



# 指定運用方法とは

3カ月以上にわたって加入者が自身で掛金の配分設定をしなかった場合に、2週間以上の「猶予期間」を経て、加入者の掛金を運用することになる商品のこと

2018年5月1日から「確定拠出年金法等の一部を改正する法律」が施行。特定期間や猶予期間などの十分な期間に、運用方法を指定するようにと促しても運用方法を指定しなかった場合、責任は加入者にあると明確にした



### ③給付・その他

受取方法	一時金か年金
年金の受取期間	5年または10年
年金の受取回数	年1回、2回、4回、6回から選択

・受取方法:限定的。  
→併給ができない  
→年金の受取期間も短い

・年金開始後、5年を経過した場合、請求により資産残高を一括で一時金として受け取ることは可能(以下、同じ)

●窓口対応:なし

●コールセンター受付時間

ー平日および土曜日(年末年始除く):8時~18時

\*土曜日は新規加入のお問い合わせのみ

ー各種資料はWEBサイトから請求(店舗では受け付けない)

ー給付の請求、掛金の還付、WEBサイトでの運用指図の操作方法、IDパスワードの再交付等は、SBIベネフィットシステムズのコールセンターが担当(平日10時~18時)

★留意点:2017年5月に「運用商品」の誤売却

# <参考・大和証券> ...SBIベネフィット・システムズの受付機関

## ①手数料

### ●加入者

		加入時 手数料	口座管理 手数料
支払先	国民年金基金 連合会	2,777円	103円
	事務委託先 金融機関 (資産管理サー ビス信託銀行)	—	64円
	運営管理機関 (大和証券)	—	0円
合計		2,777円	167円／月

運営管理機関 変更手数料	企業型移換時 手数料
—	—
—	—
4,320円	4,320円
4,320円	4,320円

### <参考:運用指図者>

加入時 手数料	口座管理 手数料
2,777円	—
—	64円
—	—
2,777円	64円／月

\* 給付:1回につき432円が給付金から徴収される

\* 還付事務手数料:1回につき1461円(国民年金基金連合会1029円、事務委託先金融機関432円)

- ・店舗での制度説明、申込書提出は可能
- ・口座管理手数料は月167円(年間2004円)
- ・留意点:ほかの運営管理機関に変更、企業型DCに移換するのに4320円かかる。

# 給付・その他

---

受取方法	一時金か年金
年金の受取期間	5年・10年・20年
年金の受取回数	年1回、2回、4回、6回から選択

\* SBIベネフィット・システムズの受付金融機関は大和証券のほか、青森銀行、沖縄銀行、富山銀行、高知銀行

# 楽天証券

# ①手数料 2016年9月からiDeCoを開始

## ●加入者

		加入時 手数料	口座管理 手数料	運営管理機関 変更手数料	企業型移換時 手数料
支払先	国民年金基金 連合会	2,777円	103円	—	—
	事務委託先 金融機関 (資産管理サー ビス信託銀行)	—	64円	—	—
	運営管理機関 (楽天証券)	—	0円	4,320円	4,320円
合計		2,777円	167円／月	4,320円	4,320円

## <参考:運用指図者>

加入時 手数料	口座管理 手数料
2,777円	—
—	64円
—	—
2,777円	64円／月

\* 給付:1回につき432円が給付金から徴収される

\* 還付事務手数料:1回につき1461円(国民年金基金連合会1029円、事務委託先金融機関432円)

- ・口座管理手数料は月167円(年間2004円)
- ・留意点:ほかの運営管理機関に変更、企業型DCに移換するのに4320円かかる



## ●指定運用方法

	商品名	実質に負担する 運用管理費用 (税込)	運用会社
バランス	楽天・インデックス・バランス(DC年金)	年0.2078%程度	楽天投信

・FOF(ファンド・オブ・ファンズ)。バンガードのETFの投資。全世界株式15%、投資適格債券(為替ヘッジあり)85%

## ③給付・その他

### ●給付

受取方法	一時金、年金、一時金と年金の組み合わせ（一時金の割合は10～90%まで10%刻みで指定できる）
年金の受取期間	5年以上20年以下（1年刻みで指定できる）
年金の受取回数	年1回、2回、3回、4回、6回、12回から選択

- ・窓口対応：なし
- ・コールセンター受付時間：  
→平日10時から19時（祝日除く）、土曜日9時～17時
- ・証券口座保有者は同じID、ログインパスワードが使える
- ・記録運営管理機関：JIS&T（日本インベスター・ソリューション・アンド・テクノロジー）
- ・事務委託先金融機関：資産管理サービス信託銀行

# マネックス証券

# ①手数料

—2017年9月からiDeCo開始

## ●加入者

		加入時 手数料	口座管理 手数料	運営管理機関 変更手数料	企業型移換時 手数料
支払先	国民年金基金 連合会	2,777円	103円	—	—
	事務委託先 金融機関 (資産管理サー ビス信託銀行)	—	64円	—	—
	運営管理機関 (マネックス証券)	—	0円	4,320円	4,320円
合計		2,777円	167円／月	<b>4,320円</b>	<b>4,320円</b>

## <参考:運用指図者>

加入時 手数料	口座管理 手数料
2,777円	—
—	64円
—	—
2,777円	64円／月

\* 給付:1回につき432円が給付金から徴収される

\* 還付事務手数料:1回につき1461円(国民年金基金連合会1029円、事務委託先金融機関432円)

- ・口座管理手数料は月167円(年間2004円)
- ・留意点:ほかの運営管理機関に変更、企業型DCに移換するのに4320円かかる

## ●指定運用方法

	商品名	運用管理費用 (税込)	運用会社
バランス	マネックス資産設計ファンド＜育成型＞	0.54%	アセットマネジメント One

・世界の6資産(国内外の株式・債券・リート)に分散投資。

基本資産配分比率は、各資産のリターン、リスク等を推計し、証券投資理論に基づいて決定。

原則として基本資産配分比率の見直しを年1回行う。

実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行う

## ③給付・その他

### ●給付

受取方法	一時金、年金、一時金と年金の組み合わせ (一時金の割合を指定)
年金の受取期間	5年以上20年以下(1年刻みで指定できる)
年金の受取回数	年1回～12回から選択

- ・窓口対応:なし
- ・コールセンター受付時間:【平日】9時～20時 【土曜日】9時～17時(日祝、年末年始除く)
- ・iDeCo専用ロボ・アドバイザー機能
- ・記録運営管理機関:JIS&T(日本インベスター・ソリューション・アンド・テクノロジー)
- ・事務委託先金融機関:資産管理サービス信託銀行



# ①手数料

## ●加入者

		加入時 手数料	口座管理 手数料	運営管理機関 変更手数料	企業型移換時 手数料
支払先	国民年金基金 連合会	2,777円	103円	—	—
	事務委託先 金融機関 (三菱UFJ信託)	—	64円	—	—
	運営管理機関 (野村證券)	—	0円(*1)	0円	0円
合計		2,777円	167円／月	0円	0円

## <参考:運用指図者>

加入時 手数料	口座管理 手数料
2,777円	—
—	64円
—	—
2,777円	64円／月

- ・給付:1回につき432円が給付金から徴収される
- ・還付事務手数料:1回につき1461円(国民年金基金連合会1029円、事務委託先金融機関432円)

\* 月額掛金1万円以上または残高100万円以上の場合。条件に当てはまらない場合には283円。  
合計額は450円／月(年間5,400円)。毎月積み立てた場合。

# 商品

## ●指定運用方法

	商品名	運用管理費用 (税込)	運用会社
ターゲット イヤー型	マイターゲット2030(確定拠出年金向け) マイターゲット2035(確定拠出年金向け) マイターゲット2040(確定拠出年金向け) マイターゲット2045(確定拠出年金向け) マイターゲット2050(確定拠出年金向け) マイターゲット2055(確定拠出年金向け) マイターゲット2060(確定拠出年金向け)	2030: 年0.3672%  その他は 年0.3888%	野村アセット マネジメント

生年月日によりターゲットイヤーが最も近い商品が選択される。

## ③給付・その他

### ●給付

受取方法	一時金、年金、一時金と年金の組み合わせ（一時金の割合は10～90%まで10%刻みで指定できる）
年金の受取期間	5年以上20年以下（1年刻みで指定できる）
年金の受取回数	年1回、2回、3回、4回、6回、12回から選択

- ・窓口対応：あり（全国の本支店、制度説明のみ）。申し込みはDC専用コールセンターで対応。
- ・コールセンター受付時間：【平日】9時～21時 **【土日】9時～17時**（祝日、年末年始除く）  
（DCコールセンターとWEBサービスはヘルプデスク協会から4年連続で「五つ星」を獲得）
- ・記録運営管理機関：JIS & T（日本インベスター・ソリューション・アンド・テクノロジー）
- ・事務委託先金融機関：三菱UFJ信託銀行

# みずほ銀行

# ①手数料(2017年1月以降の取り扱いプランの加入者、運用指図者)

## ●加入者

		加入時 手数料	口座管理 手数料
支払先	国民年金基金 連合会	2,777円	103円
	事務委託先 金融機関 (資産管理サー ビス信託銀行)	—	64円
	運営管理機関 (みずほ銀行)	—	0円(*)
合計		2,777円	167円／月

運営管理機関 変更手数料	企業型移換時 手数料
—	—
—	—
0円	0円
0円	0円

## <参考:運用指図者>

加入時 手数料	口座管理 手数料
2,777円	—
—	64円
—	0円(*)
2,777円	64円／月

・給付:1回につき432円が給付金から徴収される

・還付事務手数料:1回につき1461円(国民年金基金連合会1029円、事務委託先金融機関432円)

\* 条件A、条件Bのいずれかを満たした場合に適用される

・条件A:iDeCoの残高または掛金累計額が50万円以上

・条件B:①月額掛金1万円以上、②iDeCo専用WEBサイトでメールアドレス登録、③SMART FOLIO<DC>にて目標金額登録の3つを満たす

・条件を満たさない場合は運営管理機関225円/月、合計額422円/月(年間5,064円)

### ③給付・その他

#### ●給付

受取方法	一時金、年金、一時金と年金の組み合わせ（一時金の割合は10～90%まで10%刻みで指定できる）
年金の受取期間	5年以上20年以下（1年刻みで指定できる）
年金の受取回数	年1回、2回、4回、6回から選択

・窓口対応：可（制度説明）

・コールセンター受付時間：【平日】9時～21時 **【土日、祝日、振替休日】9時～17時**（GW、年末年始除く）  
（委託運営先：確定拠出サービス株式会社）

・記録運営管理機関：JIS & T（日本インベスター・ソリューション・アンド・テクノロジー）  
・事務委託先金融機関：資産管理サービス信託銀行

\* 注意事項：「運営管手数料0円の適用については2019年4月30日までにみずほ銀行で申し込み書類に不備がないことが確認できたお客様が対象。上限に達する見通しとなった場合にはお申込みを中止する場合がございます」と記載あり



# イオン銀行

# イオン銀行

---

- ーイオン銀行: 受付金融機関
- ー運営管理機関: みずほ銀行
- ー記録関連運営管理機関: JIS&T  
(日本インベスター・ソリューション・アンド・テクノロジー)
- ー事務委託先金融機関: 資産管理サービス信託銀行
- ーイオン銀行で土日・祝日も相談・申し込みができる

留意事項)「受付金融機関なので、運用商品に関する説明はできません。運用商品の内容についてはみずほ銀行が委託するイオン銀行iDeCo確定拠出年金コールセンターで対応。」

# ①手数料(2017年1月以降の取り扱いプランの加入者、運用指図者)

## ●加入者

		加入時 手数料	口座管理 手数料
支払先	国民年金基金 連合会	2,777円	103円
	事務委託先 金融機関 (資産管理サー ビス信託銀行)	—	64円
	運営管理機関 (みずほ銀行)	—	0円
合計		2,777円	167円／月

運営管理機関 変更手数料	企業型移換時 手数料
—	—
—	—
0円	0円
0円	0円

## <参考:運用指図者>

加入時 手数料	口座管理 手数料
2,777円	—
—	64円
—	0円(＊)
2,777円	64円／月

- ・給付:1回につき432円が給付金から徴収される
- ・還付事務手数料:1回につき1461円(国民年金基金連合会1029円、事務委託先金融機関432円)

- ・口座管理手数料は月167円(年間2004円)
- ・ほかの運営管理機関に変更、企業型DCに移換する際も無料

## ③給付・その他

### ●給付

受取方法	一時金、年金、一時金と年金の組み合わせ（一時金の割合は10～90%まで10%刻みで指定できる）
年金の受取期間	5年以上20年以下（1年刻みで指定できる）
年金の受取回数	年1回、2回、4回、6回から選択

- ・窓口対応：可（制度説明）
- ・コールセンター受付時間：【平日】9時～21時 **【土日、祝日、振替休日】9時～17時**（GW、年末年始除く）  
（委託運営先：確定拠出サービス株式会社）
- ・SMART FOLIO＜DC＞（組み合わせの診断）を利用可。

# りそな銀行

# ①手数料

## ●加入者

		加入時 手数料	口座管理 手数料		運営管理機 関変更手 数料・企業型移 換時手数料
			当初2年間	3年目以降	
支 払 先	国民年金基金 連合会	2,777円	103円		—
	事務委託先金融機関 (りそな銀行*)	—	64円		—
	運営管理 機関 (りそな銀行)	—	0円	①262円 ②316円	0円
	③事業主払 込(給与天引)	—	0円	③0円	
合計		2,777円	167円/月	①429円/月 ②483円/月 ③167円/月	0円

## <参考:運用指図者>

加入時 手数料	口座管理 手数料	
	当初2年間	3年目以降
2,777円	—	—
—	64円	64円
—	0円	316円
2,777円	64円/月	380円/月

- ・給付:1回につき432円が給付金から徴収される
- ・還付事務手数料:1回につき1461円(国民年金基金連合会1029円、事務委託先金融機関432円)
- \* 日本トラスティ・サービス信託銀行へ再信託

●iDeCo+(中小事業主掛け金納付制度)など給与天引き(事業主払込)で掛け金を拠出する加入者の運営手数料が無料

## ③給付・その他

### ●給付

受取方法	一時金、年金一時金と年金の組み合わせ(一時金で受け取る割合(%))を指定)
年金の受取期間	5年、10年、15年、20年
年金の受取回数	年2回、3回、4回、6回から選択

#### ・窓口対応:あり

ー銀行窓口のほか、つみたてプラザ(八重洲、枚方)、年中無休で19時まで営業のセブンデイズプラザで  
ー制度説明、商品説明、加入後の運用相談も可能

#### ・コールセンター受付時間:【平日】9時～21時 【土日】9時～17時(祝日、振替休日、年末年始除く)

・記録運営管理機関:日本インベスター・ソリューション・アンド・テクノロジー、事務委託先金融機関:資産管理サービス信託銀行

# 中央労働金庫



# ①手数料(2017年1月以降の新プラン)

## ●加入者

		加入時 手数料	口座管理 手数料
支払先	国民年金基金 連合会	2,777円	103円
	事務委託先 金融機関 (資産管理サー ビス信託銀行)	—	64円
	運営管理機関 (ろうきん)	—	255円(＊)
合計		2,777円	422円／月

運営管理機関 変更手数料	企業型移換時 手数料
—	—
—	—
0円	0円
0円	0円

## <参考:運用指図者>

加入時 手数料	口座管理 手数料
2,777円	—
—	64円
—	255円
2,777円	319円／月

・給付:1回につき432円が給付金から徴収される

・還付事務手数料:1回につき1461円(国民年金基金連合会1029円、事務委託先金融機関432円)

\* 2019年3月分まで。それ以降は305円/月、合計472円/月(年間5,664円)

## ③給付・その他

### ●給付

受取方法	一時金または年金
年金の受取期間	5年から20年の間で指定
年金の受取回数	年1回、2回、3回、4回、6回、12回から選択

- ・窓口対応:あり(各営業店)
- ・コールセンター受付時間:【平日】9時～21時 【土日祝・振替休日】9時～17時(GW・年末年始除く)
- ・ただし、運用商品に関する相談・質問は【平日】9時～17時(土日祝・年末年始除く)
- ・一部のろうきんでは、加入者向けの継続セミナーを実施。
- ・記録運営管理機関:日本インベスター・ソリューション・アンド・テクノロジー、事務委託先金融機関:資産管理サービス信託銀行

# KDDIアセット

# auのiDeCo

---

- 一口座管理手数料は最低水準
- 運用商品はバランス型4本＋定期預金1本
- AUスマート・ベーシック 安定(年0.378%) / 安定成長(同) / 成長(年1.17288～1.41993%) / 高成長(年1.31409～1.56141%)
- 運用残高に応じてポイントがたまる仕組み  
WALLETポイント: 0.04%、0.04%、0.1%、0.1%  
Wow! ポイント: 0.02%、0.02%、0.05%、0.05%
- スマホアプリを活用

# 金融機関選びのヒント

# インデックス投信で世界の株に投資

日本

先進国

新興国

- (1) MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(MSCI ACWI)に連動する投信  
FTSE グローバル・オールキャップ・インデックスに連動する投信

- (2) TOPIXに連動する投信  MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (MSCI ACWI除く日本、円ベース)に連動する投信

- (3) TOPIXに連動する投信  MSCI KOKUSAI・インデックス連動する投信  MSCIエマージング・マーケット インデックスに連動する投信

# インデックス投信で世界の株に投資

日本

先進国

新興国

(1) アクティブ投信

(2) アクティブ投信  MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス  
(MSCI ACWI除く日本、円ベース)に連動する投信

(3) アクティブ投信  MSCI KOKUSAI・イン  
デックス連動する投信  MSCIエマージング・  
マーケット インデッ  
クスに連動する投信

---

**口座管理  
手数料** < **投信の  
信託報酬**



# インデックス投信：押さえておきたいポイント

---

●運用中に間接的にかかる手数料は運用管理費用（信託報酬）だけではない

- 実質的な費用（交付運用報告書や投信評価会社のサイト）
- 総経費率（トータル・エクスペンスレシオ）

●インデックス投信で大事ななのは指数とのかい離

- 指数には配当を含まないもの、含むものがある
- 指数とのかい離の要因は運用管理費用（信託報酬）だけではない

# 投資信託を選ぶときの視点

---

## ●金融資産全体で考える

ほかの口座とのバランスを考慮する

## ●保有している投資信託がある場合

- ー同じ商品の取り扱いがあるか
- ー同じマザーファンドで運用する商品があるのか

# 属性や働き方を考慮する

---

## ●転職が多い職種・業種である

運営管理機関の変更、企業型DCへの変更に伴う手数料が発生しない金融機関のほうがベター

## ●退職一時金や他の企業年金が多い

給付の選択肢が多いほうがよい

# ネット＋コールセンター or 窓口

---

## ●加入→運用→給付

不明点があったときに窓口にいけるほうがいいか

## ●窓口の対応は事前に確認

- －制度説明
- －運用商品の説明
- －加入後も対応してくれるのか
- －運用
- －給付について

## 重要事項(ディスクレーマー)

- 本資料に含まれる情報に関しては、作成者が信頼できると判断した情報をもとに作成したのですが、その内容および正確性、完全性、有用性について保証するものではありません。また、本書に記載された内容は2018年10月末時点において作成されたものであり、予告なく変更される場合があります。
- 本資料は研修を目的として当社が作成したものであり、いかなる投資の推奨・勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料はLIFE MAP合同会社の著作物です。における情報は情報提供を目的としたものです。当社の許諾なしの利用、複製等は損額賠償、著作権法の罰則の対象となります。